

1 学習テーマ

いろいろな角度から・・・

アイスブレイクなどとして
御活用ください！

2 学習目標

人によって見方や考え方に違いがあるからこそ、幅広い意見や考えが生まれてくることを実感する。

3 本教材の特色

先入観・思い込みを与えられると、それにとらわれやすいことがわかる。

4 準備物及び会場図

<p>準備物（各紙を人数分用意する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート（口（くち）の漢字が12個書いてあるA4の紙） ・振り返りシート 	<p>会場図（各テーブル2名）</p>
---	---------------------

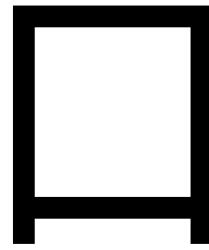
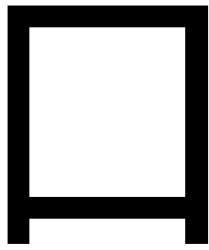
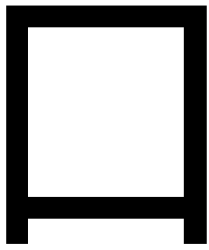
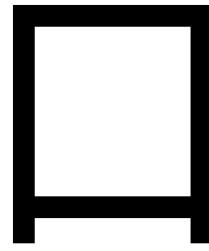
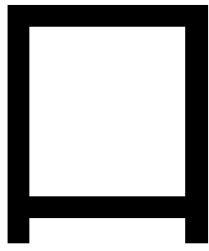
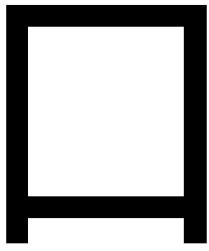
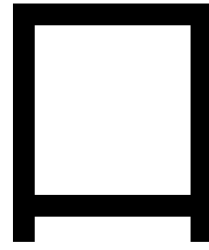
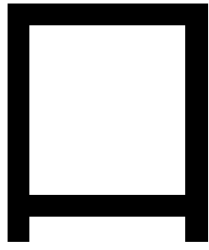
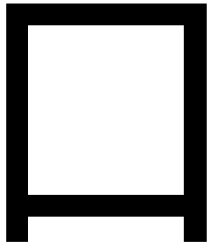
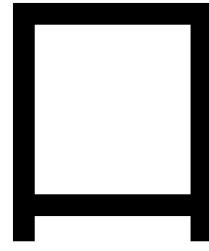
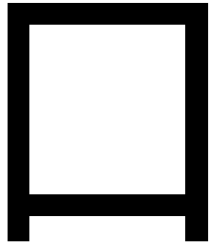
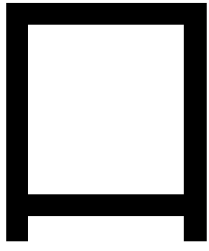
5 実施にあたっての留意点

アイスブレイクなどの目的で、短時間でテンポよく行う。

6 学習展開（10分）

流れ	時間	学習活動	留意点・評価
導入	1分	<p>「物事を一面的にしか見なくなっている」ことについて問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の情報化が進む中で、「誰もが同じ、どこも同じ」というように一面的なものを見る傾向があるように思いませんか？ ・豊かな社会であるからこそ、もっと多面的なものを見ていくことについて一緒に考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔にワークの目的を伝える。
展開	7分	<p>準備した用紙を配り、「口（くち）という漢字に線を2本書き加えて違う漢字にしてください」と伝え、例を示す。 一人考えてもらう。（1分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で何個書けたかワークシートの右下に個数を書いておく。 <p>ファシリテーターが書いた個数（幅を持たせる）を尋ね、挙手してもらう。</p> <p>隣の人と2人組になり、考えた漢字を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人で合計何種類書けたかワークシートの右下に種類の数を書く。 <p>ファシリテーターが種類の数（幅を持たせる）を尋ね、挙手してもらう。</p> <p>2人で、さらに1分間相談しながら別の漢字を考える。 2～3人に感想を聞く。</p>	<p>漢字の例は「田」がよい。</p> <p>同じ漢字は1種類としてカウントする。</p> <p>「田」を書くことで何か思い込みはなかっただろうか。</p>
まとめ	2分	<p>感想をもとにしながらまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「皆さん自身が一人で考えるだけでなく、他の人と話すことで、今までと違う見方や考えを知ることができるということは素敵なことです。」</p> </div> <p>（ファシリテーターの判断により漢字例を配付してもよい。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視点が違うことをプラスに考えることが大切だと実感してもらう。

ワークシート「いろいろな角度から」



個数	種類

目 申 由 甲 旧

旦 石 右 史 兄

古 只 占 司 囚

四 白 可 叶 加

召 叱 台 叩 号